






































# ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術を受けられる

○合併症が併発することなく退院できる

説明医師  
外来看護師  
病棟看護師

様へ

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	
経過	入院日	当日（術前）	当日（術後）	術後1日目	術後2日目	術後3～6日目	術後7日目以降	退院日	
目標	○心身ともに安定した状態で手術を受けることができる		○循環動態が安定経過する ○麻酔合併症（悪心・嘔吐・頭痛・咽頭痛など）の出現がない		○術後合併症（出血・尿漏・創部感染・腎機能障害・イレウス）をおこさない ○疼痛コントロールが図れ、医師の許可範囲内でリハビリが進められる ○創部の管が抜去できる ○尿道カテーテルが抜去できる		○創の感染徴候がなく抜鉤できる ○退院後の療養生活上の注意点が理解できる		
検査	採血をします 			採血をします レントゲン撮影があります  	必要時採血・尿検査・レントゲンなどの検査をおこないます ※検査の予約が入った場合には前日に看護師がお知らせします  				
食事	夕食まで可 麻酔科の医師の指示で 飲水の許可があります 	食事はとれません 		飲水の許可、医師の許可が 出次第、食事を再開します					
処置・観察	リストバンドを装着します （退院日まで装着します）  手術後の下肢深部静脈血栓予防 のための弾性ストッキングを準備 します	手術のために朝浣腸をします  シャワー後、手術衣に着替え、弾 性ストッキングを着用してくだ さい。  点滴の針を挿入します  時間になれば看護師が 手術室へ案内します 	・心電図・酸素モニター ・ドレーン（創部の管） ・酸素マスク ※術後6時間投与しますが 酸素の値を見ながら適宜 減量・中止していきます ・背中から硬膜外注射（鎮痛 薬） ※使用方法を説明します ・尿道カテーテル などの挿入物が入っています  術後は看護師が時間毎に観察 に来ます 痛みや尿道カテーテルによる 膀胱刺激症状が強い場合は、ナ ースコールで申し出てください	・酸素モニターを外します	・心電図モニターを外します ・出血や排便量などの問題な ければドレーンを抜きます （術後2～3日目） ・創部の状態によっては、保護剤 を交換します ・持続硬膜外注射を抜きます ※痛みが増強する場合は鎮痛薬 を服用していただきます ・歩行可能となれば尿道カテ ーテルを抜去します ※尿の管を抜いた後、最初の尿 量・性状を確認しますので破棄せ ず看護師に知らせてください その後も尿量測定を継続してい たいただきます 		手術後7日目に創の処置（抜鉤） をします	リストバンドを外します	
注射・内服	いつも服用しているお薬の ある方は確認しますので 看護師に渡してください  眠前に下剤を服用します 	手術室で持続点滴を開始します ※麻酔科医師指示、あるいは手術 開始時間によっては病棟で開始す ることもあります 	持続点滴を行います （500ml×2本/日）   抗生物質の点滴（手術中・術後3 時間後）を投与します	持続点滴を行います （500ml×4本/日） 	前日からの点滴をすべて投与したら持続点滴は終了となります ※点滴終了時に点滴の針を抜きます  深部静脈血栓の予防のために血栓予防薬の皮下注射（10時・22時）を行います （術後7日まで） 				
行動	制限はありません   シャワー・洗髪をしてください  	浣腸の後にシャワーをしていた だきます。 	ベッド上安静です 深部静脈血栓の予防のためベ ッド上で下肢の運動をしてくだ さい 	翌朝まではベッド上安静にして いただきます 合併症予防のため、午後から下垂 座位リハビリを開始します ※リハビリ時は看護師が付き添 います  看護師が体を拭きます 	歩行リハビリをおこないます ・廊下歩行訓練（午前・午後） ※リハビリ時は看護師が 付き添います ※痛みが増強するようでした 早めに申し出てください 	リハビリを継続していただきます ・廊下歩行訓練（午前・午後） ※特に制限はありません 			
説明	医師より説明 治療計画と手術に ついて   看護師より説明 入院生活について   手術室の看護師より説明 手術について   薬剤師より説明 薬について 		医師より説明 手術の結果について   看護師より説明 手術後の療養上の 注意点について 	医師の回診があります 		看護師より説明 尿量測定方法について リハビリについて  	看護師より説明 創部の管理について 	看護師より説明 退院後の療養生活 について  	医師より説明 療養生活について   看護師より説明 療養生活について 次回受診について  

\* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。  
\* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。  
\* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。  
\* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。